

ふりかえりシート 5	年 組	番 名 前
------------	-----	-------

学習したことが身に付いているか、たしかめてみましょう。

5年

かいとう
【解答】

<p>合同な図形</p>	<p>ぴったり重なる図形を合同といいます。</p> <p>合同な図形の、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重なり合う辺（対応する辺）の長さは等しい。 ○ 重なり合う角（対応する角）の大きさは等しい。 <p>・ 四角形①と四角形②は合同です。四角形①の●と対応する四角形②の頂点は□です。</p> <p>回してみると重なります。</p>	C
<p>三角形や四角形の角の大きさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三角形の3つの角の大きさの和は180°です。 ○ 四角形の4つの角の大きさの和は360°です。 <p>次の三角形のあ角の大きさを△°とすると、</p> <p>$50^\circ + 55^\circ + \triangle^\circ = \square^\circ$ だから、あ角の大きさは□°です。</p>	180 75
<p>偶数と奇数の意味</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2でわったとき、わり切れる整数を偶数といいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 偶数を小さい順に書くと、0、2、4、□、... ○ 2でわったとき、わり切れない整数を奇数といいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 奇数を小さい順に書くと、1、3、5、□、... 	6 7
<p>倍数と公倍数の意味</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3に整数をかけてできる数を3の倍数といいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3の倍数は、3、6、9、12、15、18、21、24、27、... ・ 4の倍数は、4、8、12、16、20、24、28、... ・ 3と4の倍数になっている数を、3と4の公倍数といいます。 ※ 12、24、... 12を3と4の最小公倍数といいます。 ※ 3と4の公倍数は、すべて□の倍数になります。 	12
<p>約数と公約数の意味</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8をわり切ることができる整数を8の約数といいます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8の約数は、1、2、4、8 の4つです。 ・ 12の約数は、1、2、3、4、6、12 の6つです。 ・ 8と12の約数になっている数を、8と12の公約数といいます。 ※ 1、2、4 4を8と12の最大公約数といいます。 ※ 8と12の公約数は、すべて□の約数です。 	4

約分の仕方

【約分】

- 分数の分母と分子を同じ数でわって、分母の小さい分数にします。

※ 10と15を5でわります。 $\frac{10}{15} = \frac{2}{3} \leftarrow \frac{10 \div 5}{15 \div 5}$

※ $\frac{2}{6} = \frac{2 \div \square}{6 \div \square} = \frac{1}{\square}$

2
2、3

通分の仕方

【通分】

- いくつかの分数の通分は、分母の公倍数を見つけて、それを分母とする分数になおします。そのとき、分母にかけた数と同じ数を分母にもかけます。

※ 分母を2と3の公倍数の6になるようにします。 $\frac{1}{2} = \frac{1 \times 3}{2 \times 3} = \frac{3}{6} \leftarrow \text{分母と分子を3倍}$

$\frac{1}{3} = \frac{1 \times 2}{3 \times 2} = \frac{2}{6} \leftarrow \text{分母と分子を2倍}$

分数のたし算

【分数のたし算、ひき算】

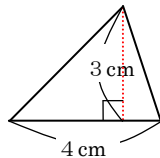
ひき算の仕方

- 分母が同じ分数は、分母はそのままにして分子だけ計算します。 $\frac{2}{7} + \frac{3}{7} = \frac{2+3}{7} = \frac{5}{7}$

- 分母のちがう分数は通分して計算します。 $\frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{3}{6} - \frac{2}{6} = \frac{3-2}{6} = \frac{1}{6}$

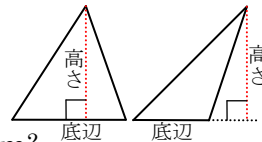
三角形や四角形の面積の求め方

- 三角形の面積 = 底辺 × 高さ ÷ 2



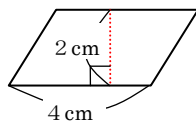
左の三角形の面積は

$4 \times \square \div \square = 6 \text{ cm}^2$



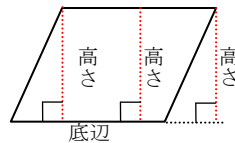
3、2

- 平行四辺形の面積 = 底辺 × 高さ



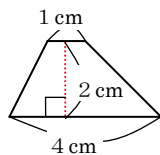
左の平行四辺形の面積は

$4 \times \square = \square \text{ cm}^2$



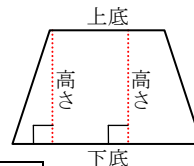
2、8

- 台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2



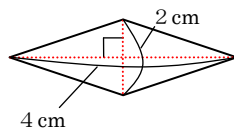
左の台形の面積は

$(\square + 4) \times 2 \div \square = 5 \text{ cm}^2$



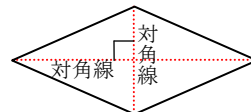
1、2

- ひし形の面積 = 対角線 × 対角線 ÷ 2



左のひし形の面積は

$\square \times 2 \div \square = 4 \text{ cm}^2$



4、2

ふりかえりはばっちりですか。できた人は、きそシート5にチャレンジしてみましょう。

